

学校だより

第13号

令和8年3月19日発行
京都府立向日が丘支援学校
京都府長岡京市今里南平尾8-1
Tel 075-951-8361
Fax 075-951-8362
<https://www.kyoto-be.ne.jp/mukougaoka-s/cms/>



令和7年度の終わりに

6日には高等部、18日には小・中学部の卒業証書授与式を終え、本日で令和7年度の教育活動を無事に修了いたします。今年の2月は春のように暖かく、3月に入ってから寒の戻りもありましたが、新しい春がすぐそばまで来ています。新校舎建設工事も開始から一年を迎え、計画通り順調に進んでいます。

学校評価アンケートでは、多くの貴重な御意見をいただき、ありがとうございました。「成果だけを求めず、先生も子ども達も楽しむことを大切にしてほしい」「子ども達が自分らしくいられる居場所であってほしい」等の御意見は、私達にとって大きな励みとなりました。

また、今年度第3回学校運営協議会でも、丁寧な指導による達成感や自立の育ち、地域に開かれた学校文化の広がりについて評価をいただきました。一方で、学校として大切にしている理念を、行動指針や評価の視点としてより分かりやすく示す仕組みづくりは今後の課題であると御意見を頂戴しました。この点は、学校評価アンケートでいただいた「学校が何を目指しているのかが分かりにくい」という御意見の改善にもつながるものと考えています。

次年度は新校舎への移転を控えた前年度であり、「Go to R9」は3年目の最終年度に入ります。子ども達一人一人の可能性をさらに見つけ、伸ばし、豊かな人生の歩みを支える学校として、教職員一同力を尽くしてまいります。今後とも、あたたかい御支援をどうぞよろしくお願いいたします。

校長 飯田 英美子

小学部

97名・18クラスの笑顔と笑いに満ちた小学部の1年が、気づけばあっという間に過ぎ去ろうとしています。1年生にとっては、見るもの聞くものすべてが初めての経験でしたが、不安の中にも勇気をもって一步を踏み出し、「できた!」という確かな手応えを積み重ねてきました。2年生以上の児童は、慣れた仮設校舎を活動の場として、仲間とともに力いっぱい学び、大きな成長を見せてくれました。

また、3年目を迎えた長法寺小学校との交流及び共同学習では、互いを“当たり前存在”として自然に受けとめ合う姿が見られ、子ども達の心の豊かさや広がり強く感じました。体験活動や校外学習でも多くの発見に出会い「がんばった」「てつだって」と声を掛け合いながら挑戦する姿には頼もしさすら覚えました。

こうして子ども達が毎日学校で輝く姿を見せてくれたのは、日頃より温かく支えてくださった保護者・地域の皆様の御理解と御協力のおかげにほかなりません。深く感謝申し上げます。

これからも、子ども達一人一人が挑戦を続け、自らの得意を伸ばし、未来に向かって力強く歩むことができる小学部を目指してまいります。

小学部総括主事 田中 勝

中学部

45名でスタートした元気いっぱいの仲間達。1学期から様々な学習や行事を緊張するなか取り組んできました。今持てる力を発揮することで、達成感を感じ、また仲間と共に頑張り、支え合ってきたことでの充実感は何よりも変えがたい経験や学びとなりました。

卒業して進学する仲間、進級して後輩思いの先輩になる仲間、これまでやってきたことに自信をもって、次の年も大きく羽ばたいてくれることと思います。「昨日の自分よりも今日の自分」を胸に、自分らしさを大切にしたい中学部を目指してまいります。

中学部総括主事 和田 康雄



卒業生を送る会

高等部

3月6日、高等部卒業証書授与式が行われました。これまで積み重ねてきたものが形となった、あたたかな雰囲気にも包まれた式となりました。今年度も後輩達が思いを込めて制作したコサージュを胸に、凛とした姿で堂々と証書を受け取る表情はとて誇らしげで、後輩達にも大きな励みとなりました。

この1年間、生徒達一人一人が様々なことに挑戦し続けました。日々の授業での学びはもちろん、全京都障害者総合スポーツ大会や学部全員で取り組んだ「検定に挑戦!」等、数々の挑戦する姿を見せてくれました。時に悔しくて涙を流したり、進むべき道が見えずに不安になったり、どう頑張ったら良いのか分からず立ち止まることもありましたが、そのどれもが確かな成長につながる大切な経験となりました。今後も生徒達一人一人が自らの挑戦を続け、自分らしく成長していける高等部を目指してまいります。

高等部総括主事 新田 幸世